

成人の外国人の学習の場について考える

2018年2月17日(土) 13:00~16:30

場所：(公財)神戸国際協力交流センター会議室

神戸市中央区浜辺通 5-1-14 神戸商工貿易センタービル 2F

定員：50名(先着申込み順)



全国でボランティアを中心とした地域の日本語支援活動は長年にわたり行われています。学習者は10~60才代までと幅広く、高等教育を受けて来られた方も自国で十分に学校に行けなかった方もいらっしゃいます。内容も入門レベルの日本語学習から読み書き、生活の中でのサポートなど様々です。成人の外国人の学習の場というとなぜか日本語学習が頭に思い浮かぶのではないのでしょうか。日本語を習得することで、ことばの壁はなくなるだろうと考えられます。しかし、成人の生涯学習という視点で考えると、定住外国人の学びは、もっと広い視野で捉える必要があります。学齢期を越えてから日本に来られた外国人は、どこで、どのように学習しているのか、この機会に考えてみるのはどうかと思いました。社会教育の観点から専門家の方々の講演とパネルディスカッションを予定しています。多くの方のご参加をお待ちしています。



第一部 13:00~14:00 基調講演
「成人の外国人の学習の場について」
野元弘幸(首都東京大学教授)

講師紹介：社会教育・生涯学習、多文化・多民族教育の専門家。ラテンアメリカ、パウロ・フレイレ、アイヌ民族・先住民族教育の研究、東日本大震災後は防災教育にも携わっている。



第二部 14:10~15:40 パネルディスカッション
「各団体の活動の成果と課題」

コーディネーター紹介：第二言語の学習者オートノミー、日本語教育関連、外国語教育関連の研究、著書多数。地域の日本語教育にも携わっている。

コーディネーター：青木 直子(大阪大学大学院教授)

パネリスト：

田中洋平(神戸市教育委員会生涯学習課指導主事)
小林真由美(神戸国際協力交流センター運営課課長)
朴洋幸(大阪府八尾市 トッカビ代表)



第三部 15:50~16:30 全体交流会

お問い合わせ・お申込み

(特非)神戸定住外国人支援センター 日本語プロジェクト

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10-502

TEL 078-612-2402 FAX 078-612-3052 E-mail kfc@social-b.net

主催：(特非)神戸定住外国人支援センター、(公財)神戸国際協力交流センター